

☆Cha Cha Cha☆

研究通信 No. 4

令和5年5月16日(火)

文責：荒塚

☆授業の流れ（1つの前提と2つの視点）について☆

(前提)

授業の終末につぶやいてほしい児童の言葉

↓そのために

(視点)

- ①子どもの問いを生み、子どもが主体的に学ぼうとする質の高いめあての設定
- ②子どもの思考をゆさぶり、深い学び・確かな学びへと導く焦点をしぼった発問や活動

4. 学校全体の実践項目(取り組みたいこと)

- ①授業の流れ(1つの前提と2つの視点)
- ②授業参観チェックリスト
- ③授業相互参観
- ④学習アンケート
- ⑤ノート、板書の仕方(統一すべきこと)
- ⑥くすのタイム(ふりかえり)
- ⑦子どもの変容

☆授業の流れを考える☆

- (1) 本時の目標を確認します。
 - (2) 目標をもとに、本時の授業の終末に子どもが「こんなことをつぶやいていたらいいな」という言葉を設定します。(本時の目標に即したつぶやきです)
 - (3) その「言葉」に子どもの思考が流れるように次の2点を設定します。
 - ①どのような導入(しかけ)とめあてがよいのか
 - ②思考を深めるためにどんなゆさぶり発問・活動がよいのか
 - ・ちょっとしたじわんな問題を出題(これも解けるの?)
 - ・違う立場(視点)の意見を出す(○○のような意見もあるよ)
 - ・あえて間違いの多いパターンを出して混乱させる
- 等、ゆさぶって再度話合わせたり、活動させたりして「それでもいいんだ」としっかり確認させる。先生方もたくさん「ゆさぶりネタ」のパターンをもっていらっしゃるのでは?(わざと雨を降らせて地を固めさせる的な?)

この授業でめざす子どもの姿(☆授業参観記入☆)

2. 学びをたのしむ姿について(☆授業参観記入☆)

①「わかった」「できた」「なるほど」が生まれる姿 達成感

②「なぜ?」「どうして」が生まれる姿 疑問・関心

③なにかまともにもがまはる姿 協働

④学んだことを次に生かす姿 活用・遷移

⑤自分の考えを相手に伝える姿 表現

⑥「もっと〜たい!」が生まれる姿 向上

⑦「えいもうおわり?」が生まれる姿 夢中

⑧新しい発見(課題)が生まれる姿 発見

研究の視点		変遷	良し
～協働解決場面における～			
発問の工夫	「児童がなぜ?どうして?と考える主発問・ゆさぶり発問があったか」(☆授業参観記入☆)	主・中心発問)	1・2・3・4
教員のつ	「子どもが考えたくなるようなめあて・問いの設定だったか」(☆授業参観記入☆)	めあて・問い)	1・2・3・4

(例です) 4年算数「小数」「小数の大小」

(目標) 整数の時と同じように千分の一の位までの小数の大小関係を理解する。(つぶやいてほしい児童の言葉)・小数の大小は、整数と同じように考えていいんだ。・大きい位からくらべていけばいいんだね。

(始点①) 整数の大小クイズをしながら、大きい位から比較することや「1が○個と△個なので○の方が大きい」といったことを振り返り、「1.515と1.57の大きさ比べの方法を考えよう」とめあての設定をする。

(始点②) 小数の大小を決めるアイデアを子どもから出して確認した後、実際に数直線に2つの小数を表し、再度大小を確認する。

※昨年実践した内容で突っ込みどころも多いのですが、児童は小数の数直線に慣れておらずかなり苦戦しました。でも、数の大小を扱う上で数直線は必須アイテムですので、数時間前から少しずつならしておけばよかったと反省しました。

子どもが「おもしろい」と感じるのはしかけのある「導入」かもしれませんが、「活動」もかもしれませんが、「ゆさぶり」前後の話し合いや活動で「ああ、そうか」「なるほど」「そういうことか」という声聞こえてきたらうれしいですね。子どもが「知的な」楽しさやおもしろさ、「学びにおいて価値の高いもの」に楽しさやおもしろさを感じ取ってくれるように毎日の授業でチャレンジしていきましょう。